

2019 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	生体機能学 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (15) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	前期	教室名	203
担 当 教 員	原 太 茂	実務経験と その関連資格	医師免許。医療法人 院長として、病院を営む。			
《授業科目における学習内容》 生体機能学、人体の構造と機能は体の正常な生体機能に関する学問であり、医学に携わる方々の全般の基礎科目として重要である。人体の構造と機能、各器官の役割を学び、これを基盤に診断と患者の治療・看護が成り立っている。この教科では、生命を維持する植物機能の呼吸・循環・血液を中心に学習する。人体の構造と機能を有機的につなぎ、系統的に各器官の位置関係、形状、内部構造、人体における役割を系統的に学んでいく。						
《成績評価の方法と基準》 小テスト、出席ならびに課題提出状況、筆記試験で総合的に評価						
《使用教材(教科書)及び参考図書》 系統看護学講座 専門基礎分野 I 解剖生理学 医学書院						
《授業外における学習方法》						
《履修に当たっての留意点》						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	1人体の見方、区分について説明できる	テキスト	(課題)	
		各コマに おける 授業予定	解剖生理学のための基礎知識 形から見た人体:体表から触知する人体の構造、人体の構造と 区分、人体の部位と器官、方向と位置を示す用語			
第2回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	1. 細胞と人体の関連について説明できる	テキスト	(課題)	
		各コマに おける 授業予定	解剖生理学のための基礎知識 素材から見た人体 人体とは、細胞の構造、細胞を構成する物質とエネルギーの 生成、細胞膜の構造と機能、細胞の増殖と染色体、分科した			
第3回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	1. 生命維持システムについて説明できる	テキスト	(課題)	
		各コマに おける 授業予定	解剖生理学のための基礎知識 機能から見た人体 生命維持システム、運動・調整システム			
第4回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	1. 体液とホメオスタシスについて説明できる	テキスト	(課題)	
		各コマに おける 授業予定	解剖生理学のための基礎知識 体液とホメオスタシス			
第5回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	1. 呼吸器の構造について説明できる	テキスト	(課題)	
		各コマに おける 授業予定	呼吸器の構造と機能(呼吸器の構造)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	1. 呼吸器の機能面について説明できる	テキスト	(課題)
		各コマにおける授業予定	呼吸器の構造と機能(呼吸:内呼吸・外呼吸、呼吸器と呼吸運動、呼吸器量、ガス交換とガスの運搬、肺の循環と血流、呼吸運動の調整、呼吸器系の病態整理)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 血液の成分と機能について説明できる	テキスト	(課題)
		各コマにおける授業予定	血液の組織と機能(血液の組成と機能、赤血球、白血球)		
第8回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	1. 血球成分の機能について説明できる	テキスト	(課題)
		各コマにおける授業予定	血液の組織と機能(血小板、血漿タンパク質と赤血球沈降速度、血液凝固、血液型)		
第9回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	1. 血液循環と調整について説明できる	テキスト	(課題)
		各コマにおける授業予定	血液の循環とその調整(心臓の構造、心臓の拍出機能)		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 血液の抹消循環について説明できる。	テキスト	(課題)
		各コマにおける授業予定	血液の循環とその調整(抹消循環系の構造)		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 心臓血管系の構造について説明できる	テキスト	(課題)
		各コマにおける授業予定	血液の循環とその調整(血管の構造、肺循環、体循環)		
第12回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	1. 血圧の調整について説明できる	テキスト	(課題)
		各コマにおける授業予定	血液の循環の調整(血圧、血圧の循環)		
第13回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	1. 血液量の調整について説明できる	テキスト	(課題)
		各コマにおける授業予定	血液の循環の調整(血圧・血液量の調節)		
第14回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	1. リンパとリンパ管にちて説明できる	テキスト	(課題)
		各コマにおける授業予定	血液の循環の調整(循環器系の病態整理) リンパとリンパ管		
第15回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	1. 呼吸器・循環器・血液の関係について身体を調整するメカニズムを説明できる	テキスト	(課題)
		各コマにおける授業予定	総復習		